やまと文化の森だより

企画展のご案内

併設好評開催中!!　（最終日は午後3時までの展示です）

移動図書館
わくわく号がやってくる！
7/19（土）午前9時半～午後4時半
○本の展示・貸出コーナー　○読み聞かせコーナー

7月の企画展・イベント

7/4（金）▶7/27（日）
○第三回　出張！湯前まんが美術館 in 山都町
○上田幸洋「Smile」写真展
○7/18（金）午後5時～　商工会青年部「夜市」

8月の企画展・イベント

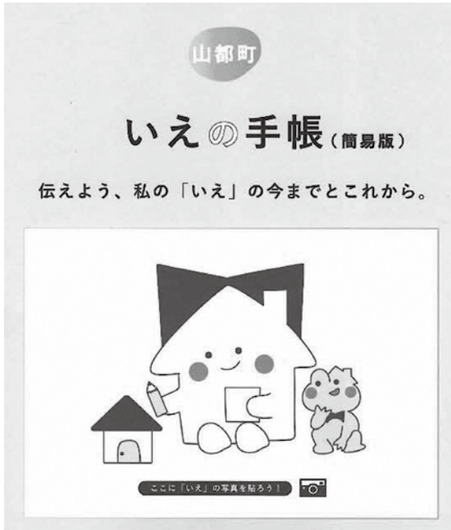
8/2（土）▶8/24（日）
○第4回 きんぎょのひろば
愛好家歴40年！山都町在住の吉山敦さんが愛情を込めて育てた金魚を、町内保育園の園児たちが制作したモニュメントとともに展示します。
メダカの展示や金魚すくいもありますよ！
8/10（日）は午後8時半まで開館します。
○8/2（土）　8/3（日）
ハンドメイド＆ワークショップ・プティ・マルシェ

問合　山都町下市16番地　☎ 72-9400　開館時間　午前9時～午後5時　入館無料
休館日　毎週月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合は次の平日）、年末年始など

山の都移住すまいるセンター通信7月号

山都町「いえの手帳（簡易版）」ができました!

不動産の相続については「気になるけど、難しそう…」と後回しにしていませんか？昨今、空き家の増加が全国的な課題になっています。山都町も例外ではありません。そこで今回、山都町空家等対策協議会の会長をされている熊本県立大学の佐藤准教授にご協力いただき、山都町「いえの手帳（簡易版）」を作成しました。この手帳は、複雑で分かりにくい不動産や相続に関する法律・制度について、ギュッと分かりやすくまとめてあります。今回、空き家バンク制度のチラシと併せて配布していますので、ご自身やご家族と一緒に確認をしながら今後の“いえ”のあり方について考えてみませんか？



問合　山の都創造課　☎72－1158

わたしたちの人権 244

誰もが人間として生きていくうえで侵すことのできない当然の権利これが『人権』です

人権作文の紹介（令和6年度）

今月は、矢部中学校1年浜田南美さんと清和中学校3年荒木麻衣さんの作文をご紹介します。

黄色いリボンに込めた思い

矢部中学校　浜田南美

私は人権センターの職員の方々の話を聞いて、リボンに書いた自分の思いをもう一度考えてみようと思いました。これから人権学習で学んだこと、大切にしたいこと、そしてリボンに込めた思いについて書きます。

人権学習を学ぶうちに、身の回りに偏見がある限り、差別に向き合っていじめなどを無くそうとしている人たちが「行動したくない。」と思ってしまうのではないかと考えました。人権センターの方々から聞いた話の中で、部落差別をなくすためのゼッケンを付けての登校に対しての偏見があり、ゼッケン登校をする勇気が出なかったそうです。この話を聞いた時に、差別やいじめを無くすための行動をしようとしている人たちが、周りからの偏見によって行動しにくいと思ってしまうことがおかしいと思いました。ゼッケンの代わに黄色いリボンを付けての登校が広まった今は、偏見は少しずつ無くなってきていると思います。それでも、ゼッケンやリボンに対する偏見によって、苦しい思いや、嫌な思いをした人がいるので、自分の身の回りから様々な偏見を無くそうと思いました。

他にも人権センターの方に、差別を無くすための「本物の行動とは何か。」と質問したとき、「自分が人にした差別やいじめに気付かないといけない。そして、勉強したり、人の話を聞いたりして、差別について考えてほしい。」という答えが返ってきました。この言葉を聞いて、差別やいじめをしないことも大切だけど、自分が周りの人に嫌な思いをさせていないかと気付くことも大切だと思いました。差別やいじめを無くす行動をすると同時に、自分の言動をふり返る習慣も身に付けていきたいと思います。

私は、これまでの人権学習をもとに、中学校の黄色いリボンには、「偏見や決めつけをしない。」と書きました。差別を無くす行動の一つとして、このリボンに書いた思いを大切にしていきます。中学生になって最初の人権学習で、改めて黄色いリボンに込めた思いについて考えることが出来て良かったです。

私の進路選択

清和中学校　荒木麻衣

私は人権学習で高校間差別について考えました。主人公の孝子が行きたい高校に対して、親や先生が反対していました。「あそこの高校はね。」「A高よりB高のほうがいい。」そんなランクを勝手につけられていました。自分が行きたい高校を拒否されて孝子はとても苦しかったと思います。そんな中でも孝子は友達の励ましで自分がしたい、自分が行きたい高校を選びました。その孝子の勇気が私の力になりました。これまでの自分を振り返ってみると、「あの高校だったら勉強しなくても受かるから」と思っていたことがありました。それも、自分の中に差別する気持ちがあったのだと気づきました。

私は今、孝子と同じように進路選択の時期を迎えています。勉強が好きではありません。正直高校に行かなくてもいいかなと思ったこともありました。中学生になって、だんだん勉強も難しくなっていって周りと差がついてきたような気がしていました。そんな自分でも、やっぱりこれから生きていくために勉強することが必要だと思いました。

私は、高校を卒業したら専門学校に行きたいと思っています。専門学校はすごい費用が掛かります。でも、母は私の夢を応援してくれています。そのため、高校は家から通えて両親に負担をかけないようにしたいと思いました。でも、社会に出たときにどこの高校か聞かれたら自信をもって自分が卒業した高校をこたえられる気がしていませんでした。でも、人権学習を通して自分の進路は自分で決めることだし、それだけで人の値打ちを決められるようなことがあったらしっかり笑い返そうと思いました。「人の値打ちは高校なんかで決まらない」だからわたしはその差別に負けないで自分の夢に向かって精一杯頑張りたいと思います。

自分の人権を守り
他人の人権を守る
責任ある行動を

©2010 熊本県くまモン